

館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—のご案内

今回は鏡野町内で制作活動をしている三浦侑子さんの作品をご紹介します。

三浦さんは最近よく世界中の古い時代に作られた生活用具の作品集を見たり、展覧会に出かけたりします。その中で惹かれるのは、工芸的な完成度は持たないが、生活の中で親しまれていた土器のような素朴な形の雑器だということです。

こうした感性は作品にも反映されていて、三浦さんの「果物のオブジェ」や「水差し」などは、完璧な形態で視線をはね返してしまうのではなく、それをずっと吸い込んでくれる柔らかい揺らぎを含んだ輪郭を持っています。

ガラスの扱いでも、三浦さんの作品の素地はまったく透明なガラスでなく、細かい気泡を含んだり、オパールのように白くて半透明だったり、さまざまな加工が施されています。例えばリンゴのオブジェでは、泡の多い中央部を細かい気泡の入ったガラスが取り巻き、外郭の部分はなんどもへらで叩いて複雑な輪郭線を形作っています。

こうして出来上がった作品は、素地に施された細かい質感と揺らぎのある輪郭線が視線を柔らかく受け止め、独特の存在感を醸し出しています。まさにガラスでしかできない、独創的な表現といえるでしょう。



リンゴのオブジェ



オパール・ゴブレット



水差し

〈展覧会情報〉

平成28年度夏～秋期企画展

「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—

会期：平成28年7月13日(水)～12月5日(月)まで

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

平成28年度 奥津歴史資料館企画展開催中

テーマ：「奥津温泉が歩んだ歴史」

内容：奥津温泉の歴史に関するパネル解説、近世の美作国絵図、映画「秋津温泉」に関する資料など

場所：苫田郡鏡野町奥津82-1
奥津歴史資料館

期間：平成28年6月15日(水)
～平成29年3月25日(土)(予定)

休館日：月曜日・祝日の翌日

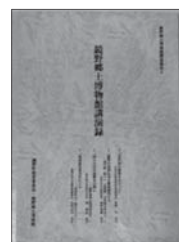
主催：鏡野町教育委員会
NPO法人てっちりこ



『鏡野郷土博物館講演録』 刊行しました

平成25年から、美作建国1300年事業や鏡野郷土博物館で実施してきた講演会の内容をまとめた講演録を刊行しました。各専門分野の4名の先生方による、鏡野町の歴史についての最新の研究成果の講演内容をわかりやすくまとめています。

ご希望の方は、ペスタロッツ館及び奥津歴史資料館にて、1冊700円(税込)で販売しています。



かかし募集中

募集期間：8月31日(水)まで

9月4日(日)開催の「2016鏡野町産業まつり」にてかかしコンテストを実施します。

出品者にはもちろん景品をプレゼント！

コンテスト入賞者には豪華賞品を贈呈します！

お問い合わせ先

- かかしコンテストに関すること(応募先)

JAつやま 西部営農経済センター

電話 (0868) 54-0582

- 産業まつりに関すること

鏡野町産業観光課

電話 (0868) 54-2987

